



新任挨拶

皮膚科科長 秋山 真志



平成22年10月1日付けで皮膚科科長を拝命いたしました秋山真志と申します。私は、医師になって今年で25年目になりますが、大学院での研究生活、2年間の米国留学期間を含めて、これまで皮膚科の臨床、

研究ひとすじに精進して参りました。

皮膚科医としての私は、静岡県の清水市立病院、東京都内の北里研究所病院、房総半島の帝京大学医学部附属市原病院（現、ちば総合医療センター）にて、約10年間、地域の基幹病院での皮膚科診療に携わりました。その後、北海道での10年間でも、北大病院皮膚科に勤務しつつ、八雲町立病院、市立小樽病院、江別市立病院、美唄労災病院等への出張診療を通して地域医療の重要性を改めて学びました。この地域医療の現場での臨床経験が、皮膚科医としての私の重要な基盤です。

私の専門は、皮膚の遺伝病、アトピー性皮膚炎、皮膚腫瘍と毛髪疾患です。皮膚科医が診る病気の範囲は、本当に多彩でいろいろな種類の病気を含んでいます。その多彩な皮膚科の守備範囲の疾

患について、まんべんなく、高いレベルの医療を患者さんに提供するのが名古屋大学医学部附属病院皮膚科の使命と考えております。今後とも、どうかよろしくお願い申し上げます。



ミッキーマウスの木《オクナ科》
名古屋大学博物館友の会・ボタニカルアートサークル
小嶋三奈子

目次

①新任挨拶／皮膚科 秋山科長	1	⑨キャンパスクリーン	16
②「病院機能評価 ver.6.0」の認定	2	⑩災害医療研修を兼ねた防災訓練を実施	17
③鈴木文部科学副大臣が名大病院を視察	3	⑪生命倫理講習会を開催	18
④総合診療医参上!	4	⑫高校生1日看護体験	19
⑤医療手術ロボット「ダ・ヴィンチ」による手術実施	5	⑬健康講座／歯科口腔外科	20
⑥よくある質問集	6	⑭ナディック通信	21
⑦ボランティア活動	11	⑮名大病院の医事統計	23
⑧行事報告	12	⑯編集後記	24

「病院機能評価ver.6.0」の認定を受けました

総務課 総務企画室

名大病院は、平成22年6月4日付けで、財団法人日本医療機能評価機構から、「病院機能評価ver.6.0」の認定を受けました。

病院機能評価は、一定の基準に基づき、第三者の立場から、(財)日本医療機能評価機構が、病院の機能・医療の質について評価を行う制度です。この制度は、病院が提供するあらゆるサービスの質の向上を図ることを目的としており、患者さんが安心して、質の高い医療を受けるために、病院の現状や将来へ向けた機能を評価するものです。

本院では、平成21年度中の病院機能評価受審に向けて、多職種からなるタスクフォースを中心とした新たな体制を作りました。職員一人ひとりが意識を高め、職種間のコミュニケーションを活発にとりながら、全職員が一丸となって、病院機能及び医療の質に関する改善に取り組み、今年1月に本審査を受けた結果、今回の認定となりました。

今後も、患者さんから選ばれる質の高い医療を提供できる病院を目指すべく、病院機能及び医療の質に関する改善を継続的に取り組んでいきます。



▲ 認定書

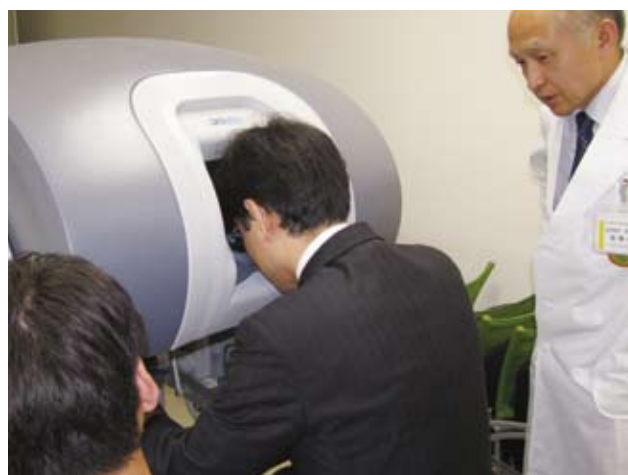
鈴木文部科学副大臣が名大病院を視察

総務課 総務企画室

鈴木 寛文部科学副大臣が、平成22年8月25日(水)、名大病院を訪問し、院内を視察しました。

はじめに、鈴木副大臣は、加藤重治文部科学省大臣官房審議官ら文科省関係者、濱口総長、松尾病院長、本院関係者とともに、国立大学附属病院の立ち位置と

展望、名大病院における実践事例などについて懇談を行い、先端医療・臨床研究支援センター(遺伝子治療、再生医療など)、医療用手術ロボット「ダ・ヴィンチ」、スキルスラボ、新生児特定集中治療室、化学療法部(がん療法)等を視察しました。



総合診療医(ドクター・ジェネラル)参上！ ＜ジェネラルとは“総合的な”という意味です＞

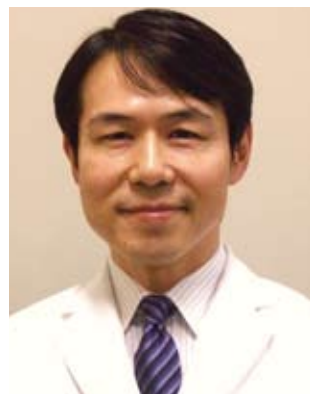
総合診療科・病棟医長 鈴木 富雄

そもそも総合診療医とは？

心臓なら循環器、肺なら呼吸器というように臓器別に患者さんを分けずに、常に体を総合的な観点から捉えて、診療を進めていきます。臓器別の専門医が各臓器の問題に対して技術や経験を深めていく、言わば「縦方向の専門家」だとすれば、総合診療医は人間の体、そして心も含めて、総合して診療する「横方向の専門家」とも言えます。

なぜこのような医師が必要になってきたのですか？

医学が発達して各専門に細分化しすぎた結果、一つの診療科ではその専門の臓器の問題しか扱わないといった傾向が強まり、患者さんも、最初にどの科で診察を受けたらよいのかわからないということも起こってきました。また、問題が多臓器にまたがっている場合、多くの診療科を受診しなければならず、その結果をまとめて考える医師も不在である、という状況も生まれてきました。そこで、臓器に関わらず患者さんの問題にアプローチする、「総合診療医」の役割が重要となってきたという訳です。



どのような時に総合診療科を受診するとよいのですか？

まず、自分の症状がどの臓器と関係しているのか不明で、どの科へ受診したらよいのかわからない時。次に、別の病院や他の専門科にかかっているけれども、診断が少し難渋している時。さらに、問題点が色々な臓器にまたがっており、まとめて一つの科での総合的な診療を希望されている時。以上のような場合がありますが、最近では二番目の役割が大きく、診断が難しい患者さんに対して、「診断をつけて欲しい」というご紹介が多くなっています。一筋縄ではいかないこともあります。この「答を出す」という役割は、大学病院の総合診療医に与えられた一つの使命と考え、日夜診療に取り組んでおります。

どのように病気を特定していくのですか？

患者さんが当科受診時には、まだ症状がどの臓器によるものかわからない状況ですから、最初から検査に頼っている、いくら検査をしてもきりがありません。まずは「医療面接」で患者さんの話をしっかり聞かせていただき、聴診や触診などの「身体診察」を丁寧に行うことにより、病気を絞り込んでいきます。手術やカテーテル検査などはしませんが、その代わり、この「医療面接」と「身体診察」の二つが、私達の大きな武器となるのです。詳細な「医療面接」と「身体診察」のみで、ほぼ8割近くの病気の診断は可能であるという研究データもあります。

他の専門の診療科との関係は？

総合診療医が有効に機能する事により、他の診療科では、本来専門とする診療に力を注ぐことができます。ちなみに名大病院では、当科は紹介状のない内科系の初診患者さんの診療を引き受けており、その数は月に300人ほどで、全ての診療科の中で常に患者数ベスト3に入っています。また、外来、病棟を問わず、各専門診療科からの紹介や相談も多く受けており、「患者さんの症状が自分の専門とする臓器によるものではないが、その次にどうすればよいだろうか？」というような時に「方向性を決めて答を出す」というような役割を担っています。お互いの利点を生かしあって患者さんのためにベストを尽くす、そのような良好な協力体制ができています。

総合診療医に求められるものはなんでしょう？

どんな訴えでも患者さんの声に真摯に耳を傾け、きめ細やかな診察を心がけ、シャーロックホームズのように緻密で論理的な思考を進めながらも、その場のニーズに応じてフットワーク良く、各専門診療科や他の医療従事者の協力を仰ぎ、患者さんにとってのベストの選択を探り当てる、粘り強い姿勢が求められます。

最後に一言お願いします。

自分の専門を患者さんに聞かれた時に、循環器内科ならば「心臓の専門家です。」と答え、呼吸器内科ならば「肺の専門家です。」と答えるかもしれません。私達が患者さんに「先生の専門は何ですか？」と聞かれた時には、「私は貴方の専門家です。」と胸を張って言えるぐらいの気持ちで、患者さんと向き合っていきたいと思っています。

総合する専門家、総合診療医を、これからもどうぞよろしくお願いいたします。

医療手術ロボットda Vinci(ダ・ヴィンチ)による手術実施

泌尿器科・教授 後藤 百万

名大病院は、平成22年3月に、医療用手術ロボット「ダ・ヴィンチ」を導入しました。

ダ・ヴィンチは4本のアームで、腹腔鏡手術における内視鏡と手術鉗子の操作を行います。執刀医は患者さんから離れた位置にあるコンソールボックス(操縦席)で、内視鏡を介した術野のモニターを見ながら、手術鉗子の操作を行います。ダ・ヴィンチの鉗子の動きは非常に精密で、コンピューター制御により人間の手の繊細な動きを再現することができ、また、3次元の拡大視野で手術操作を行うことができることから、従来の腹腔鏡手術に比べて、より確実に精密な手術を行うことができます。

すでに、アメリカで約1200台、ヨーロッパで約250台、韓国でも約30台のダ・ヴィンチが稼動し、ロボット手術は通常診療として行われていますが、日本では薬事承認が得られていなかったことにより、昨年までは国内に5台しかなく、実際の手術も高度医療として少数例が行われているのみでした。しかし、昨年11月に薬事承認が得られたことから、本院ではいち早く導入を決定し、本年5月から実際

の手術を行っています。現在、泌尿器科においては、前立腺がんに対する根治的前立腺摘除術を10症例、外科では胃がんに対する胃切除術3例を施行しており、さらに大腸がんに対する手術を予定しています。世界的には、泌尿器科手術における使用が最も多く、欧米では前立腺癌手術の70%がロボット手術により行われていますが、婦人科領域、外科領域でも急速に広まりつつあります。本邦では保険診療としてはまだ未承認ですが、本院では、まずは泌尿器科、腹部外科、胸部外科、婦人科において、先進医療としてロボット手術を推進していきます。

最先端医療テクノロジーと外科医の巧みの技を合体させて、質の高い、低侵襲手術を実現させるダ・ヴィンチは、外科領域における先進的医療開発の先駆的役割を果たしつつあります。ダ・ヴィンチの導入は、患者さんに質の高い、低侵襲手術を提供できるという点で非常に喜ばしいことであり、さらに本院としては日本におけるロボット手術の発展に貢献したいと思います。



よくある質問集

総務課 総務企画室

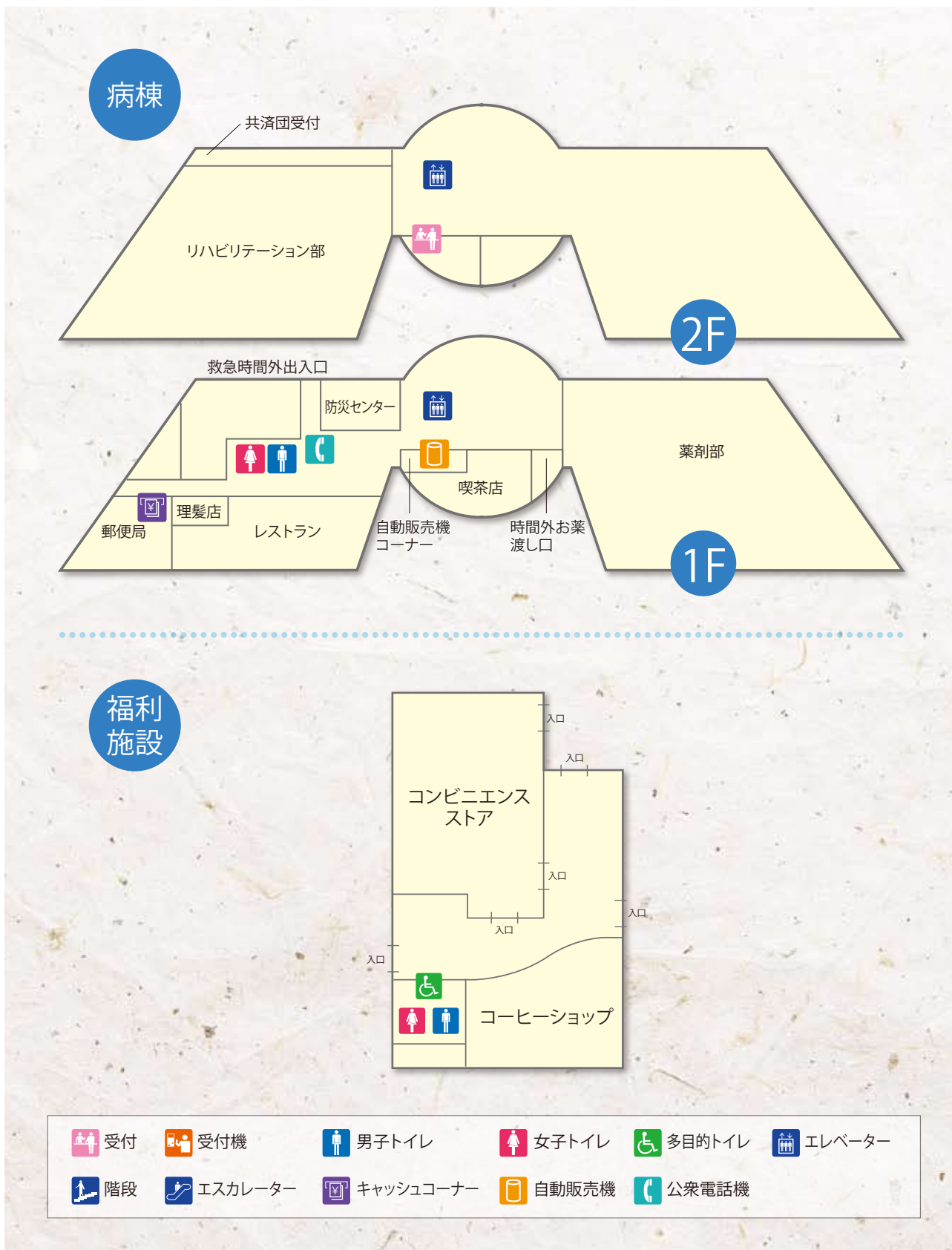
質問項目	質問内容	回 答
案内・窓口に関するご質問	院内案内地図はどこにありますか？	外来棟1階「総合案内」にあります。なお、英語版もご用意しております。
	市バスの路線図はどこにありますか？	外来棟1階「総合案内」にて閲覧いただけます。
	医師の診察曜日がわかる一覧表はありますか？	外来棟1階「総合案内」左に一覧表を掲示しています。
	ケースワーカーの相談窓口はどこですか？	外来棟1階「地域医療センター」になります。
手続き・受付に関するご質問	住所・氏名の変更手続きはどうしたらよいですか？	外来棟1階中央待合ホールのテーブルに設置してある「住所・氏名変更届」にご記入の上、「初診受付」窓口にお申し出ください。
	診察予約をしましたが、診療当日の受付方法を教えてください。	外来棟1階に設置してある再診受付機で受付してください。
	労災の手続きはどこへ行けばよいですか？	外来棟1階「公費負担医療受付」へお越しください。
受診・診断書に関するご質問	どの診療科を受診してよいのか分からない場合はどうしたらよいですか？	外来棟1階「総合案内」在席の看護師にお尋ねください。
	診療券は所持していますが、長期間受診していません。受診するにはどうしたらよいですか？	同一診療科5年以内に受診履歴がある場合は、診療科の受付でその旨お申し出ください。最後の受診から5年を超えている場合は、「初診受付」でその旨お申し出ください。
	人間ドックは実施していますか？	実施していません。
	小児科は何歳まで受診できますか？	中学生まで受診できます。
	自分の診察までに、何人の患者が待っているか知ることができますか？	診療科待合いコーナーの後ろに設置してある端末機で、待ち状況・予約状況を確認することができます。
	他の診療科にかかるにはどうすればよいですか？	現在受診している主治医から依頼をしてください。お急ぎの場合は、直接初診手続きをしてください。
	診断書を作成してもらうにはどうすればよいですか？	外来棟1階「文書受付」で手続きをしてください。
忘れ物（落とし物）に関するご質問	忘れ物（落とし物）はどこへ届け出ればよいですか？	病棟1階「防災センター」に申し出てください。
	忘れ物（落とし物）をしたが、どこへ行けばよいですか？	
車椅子・カートに関するご質問	車椅子はどこに置いてありますか？	玄関に常備してあります。
	車椅子の空気入れは貸してもらえますか？	防災センターで借りることができます。
	カートはどこへ返せばよいですか？	外来棟玄関に返却ください。
携帯電話に関するご質問	使用できる場所はどこですか？	外来棟は南側通路部分、中央診療棟は電話ボックス内、病棟はラウンジ又はエレベーターホールで使用できます。
	充電できる場所はありますか？	院内で充電できる場所はありません。ローソン（商品のため有料）でお尋ねください。

質問項目	質問内容	回 答
検査に関する ご質問	CT検査の受付はどうしたらよいですか？	中央診療棟1階「放射線受付」へお越しください。放射線検査受付機にて受付票を発行しますので、その票で待合場所を確認してください。
	採血検査の受付時間は何時から何時までですか？	午前8時から午後16時45分まで受付けています。
	血液検査をしました。が、外来基本カードを持っていません。診療券だけでよいですか？	外来棟1階「料金計算」窓口にて、その旨お伝えください。
	心エコー検査の場所はどこですか？	中央診療棟2階の心電図、呼吸機能、脳波、筋電図、ホルター心電図と同じ場所になります。
施設・設備に 関するご質問	コインランドリーはどこにありますか？	病棟の各階にあります。
	外来棟のコインロッカーはどこにありますか？	外来棟1階エスカレーターの下にあります。
	銀行のATMはどこですか？	外来棟1階東側に設置してあります。
	郵便局のATMはどこですか？	病棟1階西側の郵便局の隣にあります。
	テレビカードの販売及び精算はどこでできますか？	病棟4階、8階及び12階の食堂、病棟2階の寝具貸出場に販売機（販売のみ）、オアシスキューブ内に自販機設置（精算可能）しています。
	洗濯乾燥機の両替はどこで行えますか？	病棟2階のリハビリ室隣の寝具貸し場で行っています。
	寝具の受付はどこにありますか？	病棟2階リハビリテーション室の隣にあります。
	コピーサービスのできる場所はどこですか？	ローソンでコピーサービス（有料）を行っています。
	飲食コーナーはありますか？	外来棟2階・3階に飲食コーナーがあります。
	生協はどこにありますか？	中央診療棟の北側出入口の北側にあります。
時間外に関する ご質問	休日に診察してもらいましたが、どこへ行けばよいですか？	診察券をお持ちでない場合は、初診窓口で手続きをした後、診療科へいらしてください。診察券をお持ちの場合は、1階中央待合ホールの初診受付で診療券を受け取り、指定された診療科へいらしてください。
	時間外入口はどこですか？	病棟西側の通路からお入りください。
	時間外受付はどこにありますか？	外来棟玄関から東へ通り抜け、中央診療棟にお入りください。廊下に出て右折していただいた10m程先にあります。
	時間外の駐車整理券受付はどこですか？	診察をした場合は時間外受付にて、付添等については防災センターにて行います。

よくある質問集

質問項目	質問内容	回 答
支払い・領収書に関するご質問	会計はカードでも支払えますか？	クレジットカード、デビットカード（キャッシュカードの付加機能）が利用できます。
	薬代はコンビニで支払えますか？	院外処方による薬代は薬を受け取った調剤薬局へお問い合わせください。
	支払い方法が分からないので、替わりにやってもらえますか？	精算機の前に案内担当者がいますので、お申し出ください。
	精算機の操作方法が難しいので、教えてもらうことはできますか？	
	領収書の内容について尋ねたい場合はどこに行けばよいですか？	外来棟1階「収納（領収証明）」窓口へお越しください。
診療券に関するご質問	診療券を紛失した場合はどうしたらよいですか？	「診療券再発行用紙」に記入の上、初診受付へお越しください。再発行いたします。
	診療券を忘れた場合はどうしたらよいですか？	予約時間が迫っているときは（10分以内）診療科にてその旨お申し出ください。予約時間まで余裕があるときは診療券再発行後、再診受付機で受付を済ましてから、診療科へお越しください。
	緑色の診療券を持っています。交換してもらえますか？	黄色の診療券と交換していますので、「初診受付」にお申し出ください。
保険証に関するご質問	保険証の確認はいつ・どこで行っていますか？	毎月初めの診察や検査がすべて終了後、「料金計算」窓口に提示してください。
	保険証を忘れた場合はどうすればよいですか？	「料金計算」窓口へその旨お申し出ください。
	保険変更手続きはどこで行えばよいですか？	「料金計算」窓口にて行います。
駐車に関するご質問	駐車券を無くした場合はどうしたらよいですか？	外来棟1階「総合案内」の駐車整理券受付へお申し出ください。
	駐車場は何時に開きますか？	24時間開いています。
	駐車料金など駐車に関する問合せ先はどこですか？	外来棟1階の総合案内の駐車整理券受付でお尋ねください。
	バイクの駐車場はどこですか？	駐輪場に置いてください。
	入院関係の駐車場の利用（5台分）について利用時間を教えてください。	8時から12時30分まで利用できます。その後は閉鎖いたします。
郵便・宅配便・ファックス（院外処方せん送付）に関するご質問	入院中の患者さんへ郵便物（郵便パックを含む。）を送ることはできますか？	病院住所、病院名、病棟名、部屋番号及び患者氏名を明記してお送りください
	入院用の荷物を郵便パックで送ることはできますか？	名古屋大学内郵便局へ希望日指定で送り、荷物到着後、郵便局でお受け取りください。
	入院中の患者さん宛てに宅配便を送ることはできますか？	病棟名、患者名を明記していただければ、宅配業者が病室まで配達します。
	院外処方せんをファックスで送る場合、テレカが必要ですか？	テレカと硬貨の両方をご利用できます。なお、硬貨の場合は、公衆電話と同様、100円玉をご使用の場合、お釣りは出ませんので、ご注意ください。
	院外処方せん調剤薬局の電話番号を知ることができますか？	ファックスコーナーにて名古屋市内、尾張、三河地区及び三重県（一部）の保険調剤薬局（院外処方せん受け入れ薬局）のご案内をしています。また、お探しの地域が見つからない場合は、「お薬渡し口」の薬剤師に遠慮なく相談ください。
面会時間に関するご質問	面会時間は何時から何時までですか？	月曜日から金曜日までは15時から19時まで、土・日・祝日は10時から19時までになります。

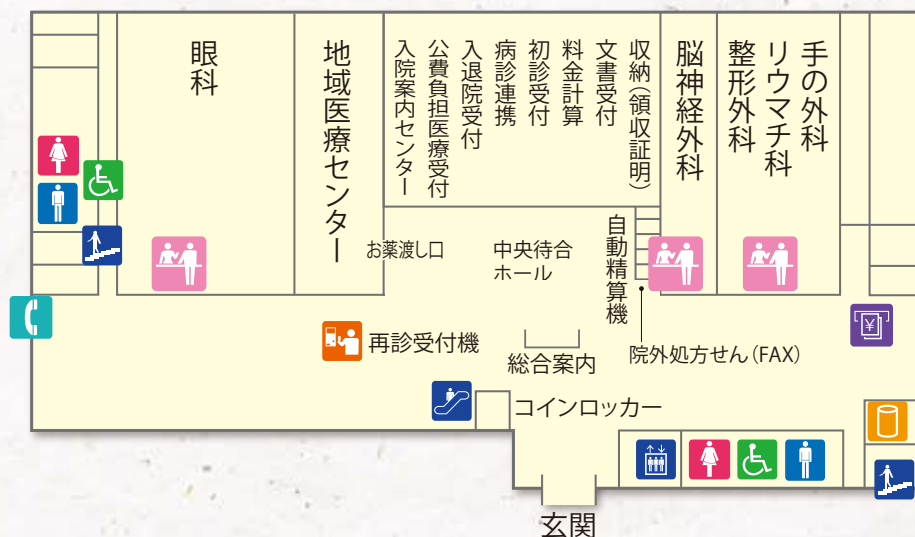
6ページから8ページまでの間でご紹介した「よくある質問集」の回答として記載した場所のうち、主要なフロアをご案内します。「よくある質問集」の内容・回答と併せてご覧ください。



よくある質問集

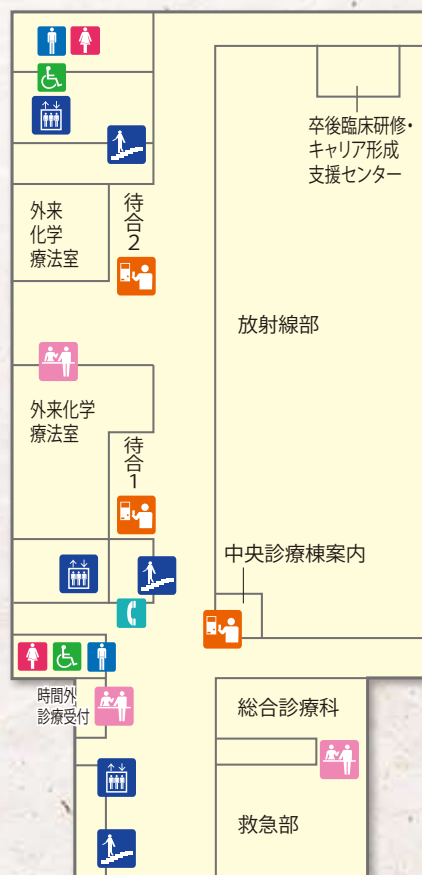
外来棟

1F



中央
診療棟

1F



ボランティア活動

こんにちは!ティンカーベルです!

このあいさつから、ティンカーベルのセッションは始まります。第1と第3水曜日の午後、小児科病棟の外科・内科それぞれのプレイルームで、子どもたちと一緒に、工作をしたり、ゲームをしたりして遊んでいます。

チャイルド・ライフ・チーム“ティンカーベル”は、チャイルド・ライフ・スペシャリストの呼びかけにより、入院中の子どもたちと遊びの時間を共有するため、1999年4月に発足したボランティアグループです。名大病院では、2009年6月から、活動させていただくようになりました。

現在、名大病院の小児科で活躍されているチャイルド・ライフ・スペシャリストの佐々木美和さんは、学生のときに、ティンカーベルで2年半のボランティアを経験した後、アメリカへ留学し、チャイルド・ライフ・スペシャリストの資格を取得されました。これまで、ティンカーベルで活動してきたのは、10代から60代の学生、社会人、主婦など、年齢も生活環境もバラバラの人たちです。学生さんも、医師・看護師・教師・保育士・心理士・社会福祉士・チャイルドライフスペシャリスト…など、目指す方向もバラバラです。でも、プレイルームで活動する時間は、「何を作りたいのか」「何色を塗りたいのか」「どんな大きさにしたいのか」、子どもたちひとりひとり、その思いが尊重され、病気を忘れて「遊ぶ」ことに熱中できるように、子どもたちと向かい合います。その考え方は、佐々木さんなどチャイルドライフスペシャリストの方々からご指導をいただいているものです。



先日、「お店やさんごっこ」をしました。プレイルームの中に、「八百屋さん」「食器屋さん」「車屋さん」「本屋さん」「銀行」などが開店しました。八百屋さんの商品は、おままごと用の野菜、パン、惣菜です。食器屋さんの商品もおままごと用のカップやポットです。車屋さんに並んでいるのは、ミニカーのスポーツカー、パトカー、ダンプカー、ショベルカー、バスです。本屋さんは、本棚の前に看板だけ貼り付けて、絵本を売っています。銀行では、プレイルームにやってきた子どもたちに、お買い物用のお金を貸してくれます。お金は、治療に使われた薬のカラフルなキャップを10円、50円、100円硬貨に見立てたものです。子どもたちは、折り紙で自分のお財布を作り、お金を入れると買い物を始めます。小さな子どもは、お母さんと一緒にお店やさんを回り、買い方を覚えると、お母さんの手を離し、独りで真剣に商品を選ぶようになります。人生初めての「ひとりでお買い物」です。3年生ともなると、ひとりお店を巡って買い物を楽しむと、「お店屋さんになりたい。」と、売り手と交代します。食器屋さんがいつしかカフェに替わり、「こちらの紅茶はイギリス産の美味しい紅茶ですよ。いかがですか?」「これとこれをセットにして、お安くしますよ。」と、大人顔負けのお店屋さんぶりです。短い時間ですが、プレイルームはマーケットになり、友だちや保育士さん・ティンカーベルと買い物を通じて、自分で選ぶこと、言葉のキャッチボールをすることを思いきり楽しみました。



入院中だからこそ、子どもが主役でいられる遊びの時間を大切にしたい。ティンカーベルの全員が、いつもそう願って活動しています。

行事報告

○夏の手作り音楽会

看護部(QCサークルリーダー) 横山 恵

昨年のクリスマス会に引き続き、8月31日に看護部QCプロジェクト主催による夏の音楽会を開催しました。総合診療科の鈴木先生による名司会に始まり、病院長のあいさつ、心にしみるオカリナやバイオリンの演奏に続き、循環器内科の医師による、マイケル・ジャクソンやバンド演奏、呼吸器内科の医師や看護師によるバンド演奏とフラダンスなどが行われました。最後には、出演者と会場全体で、「世界に一つだけの花」を振りつきで大合唱を行ない1時間の会は終了しました。

会場は終始笑顔の楽しい雰囲気に包まれ、出演者の方々のプロ並みの出来栄に、「病院スタッフとは思えない」と参加した多くの患者さんから心温まる感謝の言葉をいただきました。

入院中の患者さんに少しでも楽しいひとときをと始めた手作り音楽会も2回目を迎え、忙しい診療や業務の合間をぬって猛練習を重ねて参加してくれた多くの職員の皆様に支えられて無事に終えることができました。患者さんからは次回開催の要望もあり、クリスマス会開催の準備を進めています。



夏の手作り音楽会の様子



行事報告

○ボランティアコンサートを開きました（その1）

平成22年6月29日(火)リハビリ広場で「初夏を奏でるヴァイオリンコンサート」を開催しました。ヴァイオリンの佐藤美穂さんとピアノの森岡愛さん、佐藤さんのお母さんも独唱で出演していただきました。初夏にふさわしくタンゴの曲もたくさん演奏していただき、100名を越す患者さんや職員もすばらしいヴァイオリンとピアノ曲や歌声に癒されました。今回で2回目の出演となり、毎回感動と大変蒸暑い季節に清涼感を与えられたひと時でした。



○ボランティアコンサートを開きました（その2）

平成22年9月8日に中央診療棟2階のリハビリ広場で「ギターとマンドリンの演奏会」を開催しました。

演奏者は名古屋大学ギターマンドリンクラブの皆さんで、当院の看護師さんや、学生さん、大学院生とOBの皆様で行われました。

また、来場された皆様は、入院患者さんを中心に100名程で楽しみました。この演奏会は、とても繊細で輝きがあり、高音の素晴らしいマンドリンと低音のギターなどにより、皆様のよくご存じの曲で癒された一時でした。会場は吹き抜けて開放感があり、音の反響が大変すばらしいため、マンドリンの細やかな音までよく響き、アンコールにも応えて聴衆を魅了しました。



キャンパスクリーン

総務課 総務企画室

平成22年6月10日(木)に「キャンパスクリーン」が教職員及び学生の協力を得て実施されました。これは、構内の環境美化及び環境省が提唱する6月の環境月間に環境保全に対する関心を高めることを目的に毎年実施しているもので、名古屋市の一構成員として境界の外周清掃も併せて行い、環境美化に努めています。

当日は、快晴のもと、参加者は分担区域ごとに別れ、空き缶・紙くず等の除去、雑草の刈り取り等を行い、汗を流しました。

参加いただいた皆様には、多忙なところ協力をいただきありがとうございました。



災害医療研修を兼ねた防災訓練を実施

総務課 臨床研修掛

平成22年9月27日(月)に、災害医療研修を兼ねた防災訓練(第3回地域密着型災害コース)が実施されました。

名大病院は平成19年度から災害拠点病院に指定され、地域の災害対策網の一員として役割を担うことになりました。この研修は、短時間に非常に多くのマンパワーを必要とする災害時に対応できる人材育成するために、平成20年度から実施しています。

第3回目となる今回は、富山大学、三重大学医学部附属病院、浜松医科大学、富士市立中央病院、磐田市立総合病院からインストラクターを招へいし、受講者43名(医師、研修医、看護師、コメディカル、事務職員)、模擬患者役3名(看護師)の計46名が参加しました。また、名古屋医専の学生20名にも模擬患者役として協力いただきました。

中央診療棟(3階)講堂において、松尾病院長の挨拶の後、最初にインストラクターから災害医学総論、災害医学各論、トリアージタグ記載の講義が行われました。その後5つのグループに分かれ、5カ所に設けられたスキルブース(指揮命令系統の確立、一次トリアージ、外傷治療、搬送、情報・通信)を順次廻り実習が行われました。最後にグループ実習の成果を生かし、災害を想定した野外訓練が病棟南側ピロティで行われました。多くの参加者から、今回の訓練は実践的で大変有意義であったという声が聞かれる一方、野外訓練では情報伝達が不十分でスムーズにできなかったなどの反省点の指摘もあり、本院としては今度さらに同研修プログラムの内容の充実を図るものです。



生命倫理講習会を開催

総務課 総務第一掛

平成22年7月29日(木)に、ヒト幹細胞を用いた臨床研究に関する対策委員会の主催により、生命倫理講習会が開催されました。

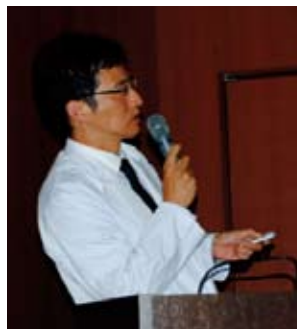
この講習会は、名大病院で発生した「ヒト幹細胞を用いる臨床研究に関する指針」の疑義違反に関する事例等を二度と繰り返さないために、臨床研究に係わる教職員及び学生に対し、再発防止策の一環として企画されたものです。

病院長による開会の挨拶のあと、生命倫理委員会の飯島祥彦特任講師から、「『臨床研究に関する倫理指針』その他関係指針について」をテーマに、介入研究と観察研究の違いは何か、健康被害に対する補償措置が必要な臨床研究とはどのような研究を指すか、また、有害事象が発生した場合の対応、臨床研究上利益相反が生じた場合の対処方法など、日頃、臨床研究の実施者からよく相談を受ける内容について、分かりやすく解説されました。

続いて、総長補佐で先端医療・臨床研究支援センターの水野正明准教授から、「今後の臨床研究管理体制及び先端医療・臨床研究支援センターの役割について」をテーマに、質の高い先端医療開発に必要な研究の実施及び管理の体制並びに平成22年6月1日に設置

された先端医療・臨床研究支援センターの果たす機能について、また、現在検討されている新しい臨床研究の審査・管理体制が、臨床研究の実施において指針上必要な手続を組織的にチェックできる体制として見直され、新体制により、審査の流れがどのように変わるのかについて丁寧に解説されるとともに、最後に、研究者ひとりひとりの指針への十分な理解が何より大切であり、一層の理解に努めてほしいとのことばで締めくくられました。

会場には、教員、コ・メディカル職員、看護師、大学院生などの120名を超える参加者が集まり、講師のことは熱心に耳を傾け、今後は各論的な内容で定期的開催して欲しいなどの意欲的な意見も寄せられ、大変な好評を博しました。



飯島 特任講師



水野 総長補佐・准教授



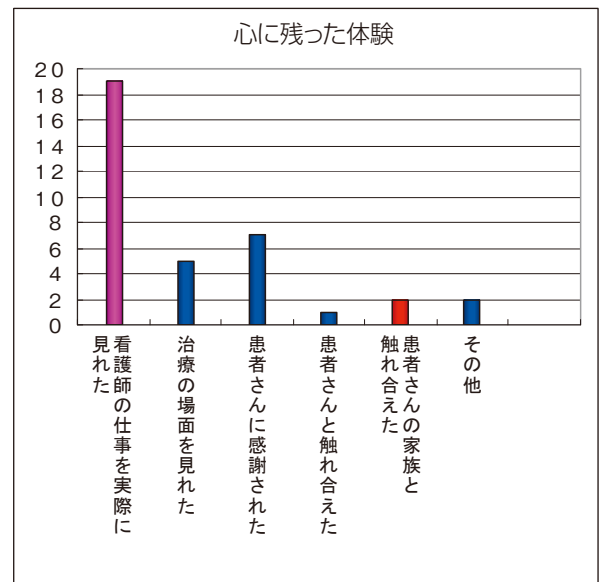
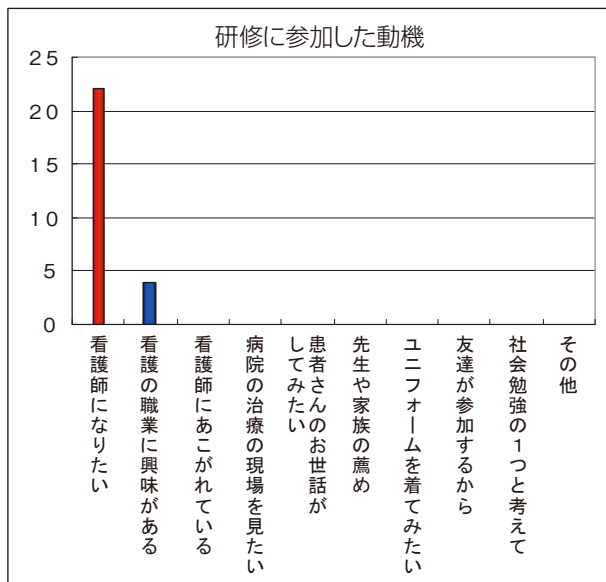
講習会の参加状況(124名)

高校生1日看護体験

看護部 姫野 美都枝

今年度も猛暑の8月4日に高校生の1日看護体験が行われました。病院長・看護部長のあいさつや施設紹介などのオリエンテーションの後、外来棟を中心に施設見学を行い、お昼前からそれぞれの病棟に別れ看護体験を行ないました。白衣に身を包んだ28名の高校生は、最初

は緊張した表情でしたが、患者さんにお食事を配ったり、身の回りのお世話など看護師の仕事を一緒に行う中で、たくさんの体験を積み、「やっぱり看護師になりたい」という思いを感じてくれたようです。以下に参加後のアンケートと感想のいくつかを紹介いたします。



【参加後の感想】

- *看護師さんたちがすごく楽しそうだった。「忙しい・忙しい」といいながらもナースステーションには常に笑いがあつた。患者さんとも仲がよくていいなあと思っていました。
- *1日ありがとうございました。とても貴重な体験をさせていただきすごく楽しかったです。
- *患者さんとのコミュニケーションや検温・血圧測定を見させていただき大変さやコミュニケーションの大切さを学ばせていただきました。

- *患者さんと接する時の皆さんの笑顔で笑顔の大切さを学びました。
- *今まで看護師って技術があるからすごいと思ってました。しかし、実際すごいのは患者さんと接する態度だと今回の実習で知りました。大切なのは心ですね。など



健康講座／歯みがきについてのちょっとした知識

歯科口腔外科 准教授 日比 英治

歯みがきの目的は、歯についている歯垢を除去して虫歯や歯周病を予防することですが、それだけではありません。歯垢が誤嚥性肺炎や糖尿病、脳梗塞や心筋梗塞、早産などの原因や誘因になることがわかっており、それらを予防する上でも、また歯科の再生医療を考える上でも欠かすことができません。たかが歯みがき、されど歯みがきです。それでは歯みがきを上手にするにはどうしたらよいのでしょうか。歯ブラシは大きい方が効率的ですが、奥歯の裏などに届きにくいので小さめのものをおすすめします。また毛先はかたい方が同様に効率的ですが、歯肉が弱っているときはやわらかめのものを使って時間をかけてください。電動ブラシは手の不自由な方には有効かもしれませんが、水をジェット噴射する器械もある程度は有効ですが、歯ブラシでこするに勝ることはなく、これは洗車と同じです。歯みがき剤は本質的には研磨材であり、補助的なものです。量は小指の先ほどで十分です。多いと歯根面が削れて知覚過敏になることがあります。逆に歯ブラシとお茶碗と同様に歯にも茶渋などがつきますので、その程度に応じた量を使いましょう。薬用のものもそうでないものも効能がいろいろ書かれていますが、期待しないのが賢明です。配合されているものは止血剤、抗菌剤、歯垢分解酵素などですが、根本的な対処にはなりません。そのほかに小さな結晶が歯の表面にできた欠損をうめて再結晶化するという効用を謳う高価なものがありますが、個人的には費用対効果は?です。有効な歯みがき法は歯ブラシの毛先が届きにくいところを重点的に清掃するというものです。それ以外のところは受動的に清掃されてしまいます。具体的には歯と歯の間、歯のはえぎわ、かみ合わせ面の溝に毛先をうまくすべりこませて汚れを取り除きます。ゴシゴシする必要はありません。やさしく丁寧に15分ほどの時間はかけてください。これで全体の汚れの9割は取れます。しかし残りの1割が問題でこれがあると予防にはなりません。歯間ブラシやフロス(糸ようじ)を使って、歯と歯の間を清掃しましょう。かみ合わせ面の溝の奥だけは無理ですのであきらめます。歯垢の染め出し液が市販されて

いますので、これを使ってうまくできているかどうかをチェックしながら進められると確実です。巷の薬局には驚くほど多くの種類の歯みがきグッズが売られています。すぐれものやたのしいものも結構ありますので自分に合ったものをぜひ探してみてください。



ストロベリーフィールズ《ヒコ科》
名古屋大学博物館友の会・ボタニカルアートサークル
大島真澄

平成22年8月27日



ナディック通信 no. 20



今回のナディック通信は、ちぎり絵教室、7月に行われた勉強会、22年度4月～7月のナディック利用統計のご報告をさせていただきます。また、保健学科阿部まゆみ先生にナディックへの思い・期待を伺いました。朝夕冷え込む季節となりましたので体調管理に気をつけましょう！

【ちぎり絵教室】



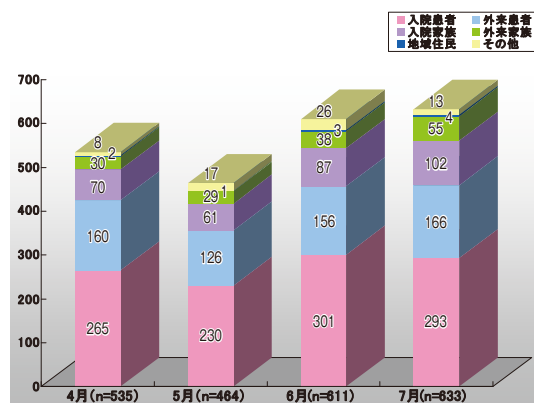
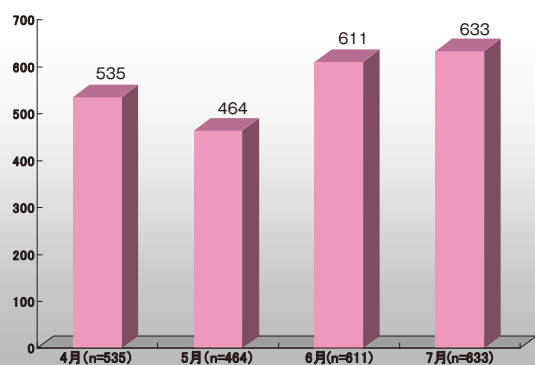
ちぎり絵教室が開催されることになりました。初回は8月16日に開催され、10名程度の方に参加いただきました。今後も月に一度開催していく予定ですのでぜひ、ご参加下さい。

【ナディック勉強会】

7月20日にナディックにて勉強会が開催されました。地域医療センターの柴田八重子看護師より「介護保険ってなぁに」というテーマでお話がありました。今後ともみなさまのお役に立てるような情報を提供していきたいと思います。



【平成22年度4月～7月利用統計】





身近な情報と交流の場「ナディック」を活用しましょう

名古屋大学大学院医学系研究科看護学専攻
がんフロフェッショナル養成プラン
特任講師 阿部まゆみ

私は2007年に本学に赴任し、1番最初に名大病院の中央診療棟3階にある患者情報センター「広場ナディック」の存在を知り、大きな感銘を受けました。それは「ナディックNagoya Disease Information Center (NADIC)」という名称であり、誰もが自由に利用できる場であり、みんなの広場というコンセプトが素敵に思えたからです。ナディックに入ると、お知らせコーナー、病気別の書籍コーナーにはがん関連本を取り揃え、情報検索のためのパソコン4台が整備されています。がん関連コーナーには、大幸キャンパスで開講しているがん講座「がんを生き抜くライフトピアスクール」参加者作文集コーナーがあります。ライフトピア作文集には“私の大切な宝もの”“わたしの人生の節目と転換期”“私のやってみたい事”など、ひとり一人の人生観や死生観が散りばめられています。さらに、目を先に向けると6畳ほどの小部屋‘おしゃれサロン’には、がん治療に伴うリンパ浮腫サポーターやかつら・帽子などが展示されています。奥には、ほっと一息できる憩いの広場があり、病院環境では珍しく読書や交流サロン風の開放的なスペースとなっています。今後、がん相談員による定期的な相談支援やがんに関する勉強会なども企画されています。昨今の医療現場は、日進月歩ではなく「分進秒歩」のスピードで情報が変化しています。ナディックが、皆様に最新で適格な情報支援センターに発展することを願ってやみません。



ライフトピア作文集



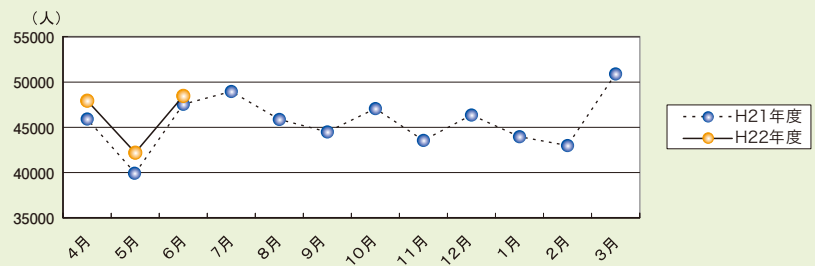
おしゃれサロン



名大病院の医事統計

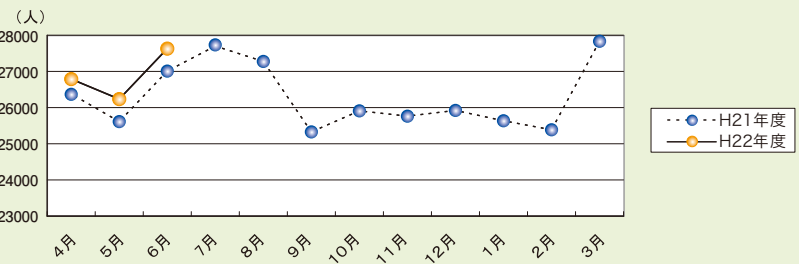
経営企画課

1. 外来患者数の推移



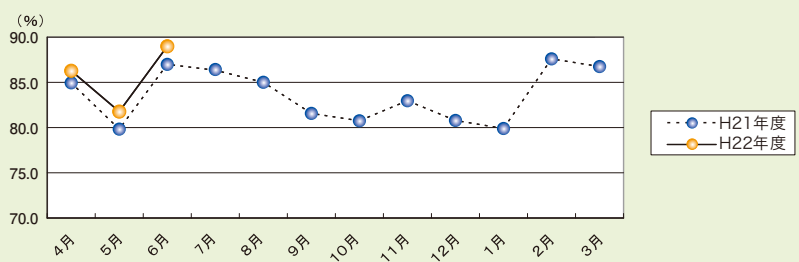
2. 入院患者数の推移

(註) 入院患者数は、在院患者延日数 + 退院患者延日数です。



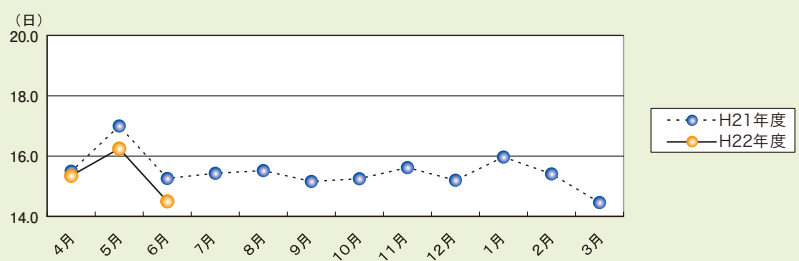
3. 病床稼働率の推移

(註) 病床稼働率の計算は、実働病床数 1015 床に対する割合です。

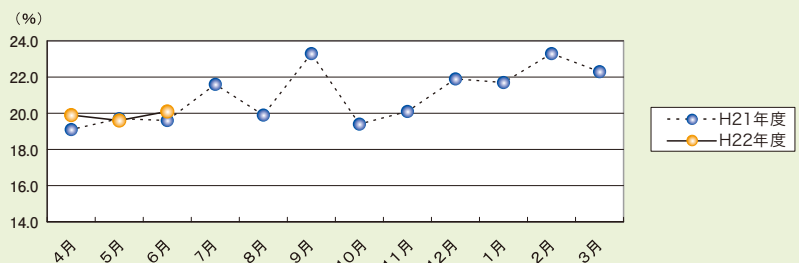


4. 平均在院日数の推移

(註) NICU, 精神病棟等を除いた一般病棟の健康保険上の平均在院日数です。

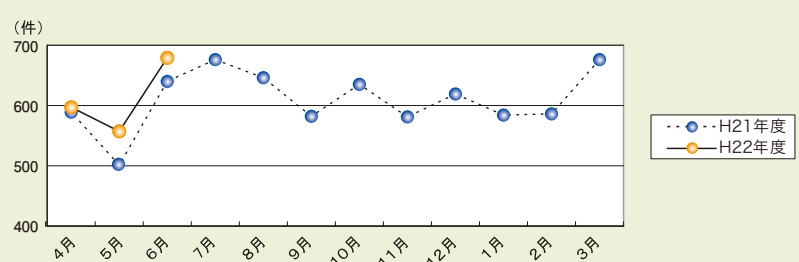


5. クリニカルパス適用率の推移



6. 手術件数の推移

(註) 中央手術室での手術件数のみです。



編集後記

9月も終わりに近づき、朝晩が過ごしやすくなり、肌寒さが心地よくなりました。数日前までは、真夏だったはずなのに、季節の移り変わりに時間の早さを感じます。

今月号のかわらばんは、外来棟特集です。外来棟で診療が開始されてからもうすぐ1年半になります。毎朝、1階のフロアを通りますが、吹き抜けのおかげでとても広く明るく感じますね。旧外来棟が壊される時、小学校6年生のころ、父親の診察の付き添いで初めて名大病院に来たことを思い出しました。初めての大学病院は、暗い玄関、低い天井、ひたすら待たされる場所という印象でした。(会計の基本カードを受付に提出するのに待合室の外まで並びました)。まさか数年後、自分がそこで働くことになるとは思いませんでした。きっと、私にとって名大病院は縁がある場所だったんだなとつくづく感じています。毎日の生活の中でいろいろな人達に出会います。ここに勤めていなければ出会なかった人たちとの縁を大事にしていきたいと最近思うようになりました。年をとった証拠ですね。(笑)外来棟が完成し、案内のため、外回りしていた時、「外来棟完成おめでとう」と、たくさんの方々に声をかけていただきました。ありがとうございました。

(経理課経理掛長 前田敦子)

お知らせ 『かわらばん』は、名古屋大学医学部附属病院ホームページでもご覧いただけます。
ホームページアドレス

<http://www.med.nagoya-u.ac.jp/hospital/>

(トップページ⇒最新情報⇒病院かわらばん)

かわらばん編集委員会

顧問	松尾 病院長	青山事務部長
アドバイザー	大磯 ユタカ	
委員長	中島 務	
委員	鈴木 富雄	石川 和宏
	青山 裕一	北野 俊雄
	姫野 美都枝	稲垣 祐子
	川村 篤	廣川 光之
	大場 亮	土屋 有司
	前田 敦子	古川 一広
	土本 重孝	

No.78

医学部・医学系研究科総務課

TEL 741-2111

(内線2228)

かわらばん編集委員会

発行日 2010年12月1日